

「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」（概要）

1. 背景

- 共生社会の実現に向けた取組（共生社会ホストタウンに登録(2017年12月)）
- ユニバーサルデザインのまちづくり ■ バリアフリー法の改正（2018年）
- B-1グランプリ全国大会(2019年11月)、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催(2020年8月)

明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会の設置(2019年(平成31年)1月)

➡ 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり重点モデル地区実行計画」の策定(2019年(平成31年)3月)

2. 基本理念

障害の有無や性別、年齢にかかわらず、誰もが「出かけることができる」「出かけたいくなる」まちを目指し、ユニバーサルデザインの考え方に沿ってまちづくりを進め、ユーザビリティの向上を図る。

3. 取組方針

◆ 全市域での展開に先駆けたモデル計画

明石駅周辺における先行的・重点的な取組の成果や課題等をもとに、市全体へ取組を広げる。

→ 2019年度(平成31年度)中に、全市域を対象とした「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画(仮称)」を策定予定

◆ 当事者視点に立った施策展開によるユーザビリティの向上

当事者の意見を十分に取り入れた施策を展開し、ユーザビリティの向上に取り組む。

◆ 当事者評価システム

取組の進捗状況を協議会で情報共有し、当事者の参画のもとで、定期的に評価・見直しを行い、スパイラルアップを図る。

4. 計画期間：2019年度(平成31年度)～2020年度(2年間)5. 重点モデル地区対象区域：明石駅周辺エリア

6. 取組施策

◆ 移動経路のユニバーサルデザイン化

例：ホームドア設置、歩道拡幅、視覚障害者誘導用ブロックの整備、
分かりやすい案内表示の設置、ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入 等

◆ 誰もが利用しやすい施設の整備

例：(仮称)ユニバーサルツーリズムセンター、公共トイレ等の整備
明石公園のバリアフリー化の検討 等

◆ 周辺民間施設のバリアフリー化

例：助成制度を活用した環境整備の促進、大規模集客施設の案内改善の実施

◆ ユニバーサルツーリズムの促進

例：(仮称)ユニバーサルツーリズムセンターの整備(再掲)、観光ガイドによるサポート、
バリアフリーマップ等による情報提供 等

◆ 「心のバリアフリー」の促進

例：障害理解促進のための研修、市民啓発行事、学校等における体験教室等の開催